

SR-X340TR1 V02.00 変更内容一覧

□機能追加

No.	項目	内容
1	MLAG機能	MLAG(Multi-chassis Link Aggregation)機能を追加しました。
2	TACACS+クライアント機能	TACACS+クライアント機能を追加しました。
3	バックアップポート機能改善	バックアップポート機能に以下の機能追加をしました。 1. VLAN単位にmasterポート/backupポートの両ポートを同時に使用できるvlan-based動作モードを追加しました。 2. 稼働ポートの切り替え発生時に上位接続された装置のMACアドレス学習テーブルを更新させる切替通知パケットを送信する機能を追加しました。
4	HTTPS機能	Webブラウザ画面から本装置の設定操作を行う際に、HTTPSプロトコルにて利用可能としました。
5	SNMP機能改善	SNMP機能に以下の機能追加をしました。 1. ネットワークループ障害検出時のTrap送信ループ検出機能およびストーム制御機能によるネットワークループ障害検出時に、個別Trapを送信可能としました。またMIBも追加しました。 2. snmpEngineBoots値の保全対応 SNMPv3利用時に本装置再起動時にもsnmpEngineBoots値を更新可能としました。
6	MACテーブルフラッシュ機能	特定のMACアドレスの学習状態を監視し、ポートムーヴが発生した際に該当ポートのMACアドレス学習テーブルエントリをクリアする機能を追加しました。
7	LACP機能改善	LACPDUフレームの受信有効期間にshort timeoutを選択可能としました。
8	FTP機能改善	1. 本装置内のソフトウェアをFTPにて退避(get)可能としました。 2. copyコマンドにおいて、FTPサーバ上のファイルを指定可能しました。
9	RAS機能改善	1. パケットバッファおよびMAC学習テーブルのパリティエラー検出動作を、一定時間内に2回発生した場合のみをハード異常と見なすよう改善しました。 2. ハード障害を検出した際に、装置を縮退モードに遷移するか否かを選択可能としました。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01.01～V01.05	リンクアグリゲーションを構成するポートでIGMPメンバーシップレポート(JOINメッセージ)を受信しても正しくマルチキャストフレーム転送ができない場合がある。
2	V01.01～V01.05	リンクアグリゲーションで学習されたMACアドレスエントリが、装置内部のスイッチデバイス間で正しく同期されず、一時的に不要なフラッディング通信が発生する。
3	V01.01～V01.05	受信ポートで1519バイトから装置で転送可能な最大受信長までのパケットを受信すると、MIBのIfInErrorsがカウントされる。
4	V01.01～V01.05	Pauseフレームを受信すると誤ってifInDiscardsおよびdot1dTpPortInDiscards MIB値が加算される。